

病院の実力「在宅医療」

医療機関別治療実績 (読売新聞調べ)

所在地	医療機関名	受け持ち在宅患者(人)	往診(回)	自宅での看取り(人)
千葉市	千城台②	100	71	30
	高根町整形外科	100	34	26
	のあしたば	65	10	16
	さくさ坂通り診療所	26	34	96
市川市	仁整形外科内科②	100	57	1
	西川②	70	100	24
船橋市	東武塚田②	60	24	4
	いらはら診療所	350	70	12
松戸市	あおぞら診療所新松戸	50	616	70
	どうたれ内科診療所	50	16	9
	島村トータルケア②	20	11	47
柏市	北柏ファミリー②	300	48	25
流山市	東葛病院付属診療所	250	24	109
鴨川市	すずぎ内科②	104	48	4
鎌ヶ谷市	亀田②	160	32*	33
浦安市	まこと医院鎌ヶ谷東診療所	100	60	14
	小林②	30	31	26
南房総市	新浦安虎の門②	2	0	2
	松永医院	65	30	16
	花の谷②	50	17	18

「②」はクリニック。「受け持ち在宅患者」は、受け持っている在宅患者の概数。「往診」は2010年4～6月に行った往診回数。「自宅での看取り」は2009年7月～2010年6月の1年間に自宅で看取った患者数。※夜間のみ

*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。今回は4月3日「うつ病」の予定です。

病院の実力

～千葉編 40

今月の「病院の実力」は、患者の自宅や入所する施設に医師らが訪問する「在宅医療」を紹介する。

在宅医療は、日時を決めて定期的に医師が訪れる「訪問診療」と、急変時に患者宅の要請に応じて昼夜問わず駆けつける「往診」がある。

在宅医療

今回の調査では、インターネットなどで、在宅患者を診ていることを確認できた89施設を抽出。昨年12月にアンケートを送付し、463施設(52%)から有効回答を得た。

表には、受け持ち在宅患者数、昨年4～6月の往診回数、2009年7月から1年間に自宅(高齢者専用賃貸住宅、グループホームなどの施設も含む。老人ホームは含まない)で看取った患者数を示した。受け持ち患者数は、各施設が訪問診療に割く時間によって決まる。自宅での看取りの

往診可能な範囲「重要」

数は、末期がん患者を多く診る施設で多い傾向にある。在宅医療を希望する場合、医療機関を探る時の最大のポイントには、自宅が往診可能な範囲にあるかどうかだ。一般的に自宅に近いほど、こまめな対応をとってもらいやすい。まずは近くの医療機関に対応可能かどうか、相談してみるのが良い。

初診の場合、患者の状態を詳しく知る必要があるため、1回の診療時間は30分以上。短い時でも、10分はかかる。状態が安定していれば、訪問診療の回数は1人あたり月2回程度。

夜間は、医師と看護師が必ず1人は診療所で当直にあたり、看護師の宿直時は、医師が自宅で待機する。

奇原実院長(57)は「人工呼吸器のトラブルなどの緊急時に、いつでも駆けつけることができる体制を整えている」と話し、昨年1年間で夜間に71回の往診を行った。

診療所には19床のベッドがあり、入院が必要な場合は診療所に運び、集中的に治療する。

3人1組、交代で対応

いらはら診療所患者1人を月2回訪問

いらはら診療所(松戸市小金原)では、常勤の整形外科医2人と内科医1人のほか、非常勤の内科医10人が在宅医療と診療所の外来を交代で行っている。

在宅医療のうち、訪問診療では、医師、看護師、運転手の3人がチームを組む。午前8時半～午後0時半と、午後1時半～5時に分かれ、各2チームが片道20分以内の患者宅や施設を回る。この時間内に、1チームが診療できるのは5～6か所。施設を訪問した際には、10人以上を診ることもある。

血圧測定や聴診、触診のほか、薬の処方や点滴、注射も

通算の「給料」を稼いだ。「ローワーク」で仕事を紹介し、顧客獲得をき込むなど規模を拡大したMO新聞「8000部を来場者に無料配布した。」

仕事体験は、30分働くと「された後、焼きそば、豚汁」競っていた「写真」。実行「い」と話していた。